

平成22年度決算に基づき算定した 財政健全化判断比率



実質赤字比率

一般会計などの実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです。



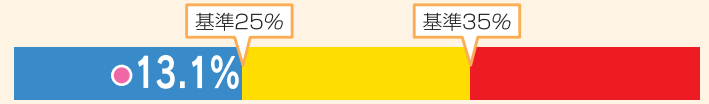
連結実質赤字比率

全会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです。



実質公債費比率

一般会計などの実質的な借入金の返済額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです。



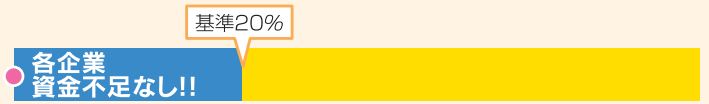
将来負担比率

一般会計などが抱える実質的な負債の残額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです。



資金不足比率

各公営企業の資金不足額が、事業の規模に対してどれくらいの割合になるかを示すものです。



佐世保市は
すべての指標を
クリアしています。

佐世保市における各指標は基準値を大きく下回っています。これは、佐世保市が堅実で効率的な財政運営を行ってきたことを示しています。

今後は、社会保障関係費などの義務的経費が増加する中、学校などの耐震化や産業振興なども進めていかなければなりません。本市は自主財源が乏しいうえに、合併特例措置（地方交付税増額）が終了[※]することから、健全な財政運営を継続していくためには、これからも行政財政運営のさらなる改革を進めていく必要があります。

※平成27年度から32年度にかけて段階的に縮小、平成33年度で全廃



これからも健全な財政運営を行います。

財政運営の方針

自立した財政運営 ▶ 『自立・分権』

わかりやすい財政運営 ▶ 『公開・参画』

成果を重視した財政運営 ▶ 『簡素・効率』

重点的、効率的な財源配分により、市民生活の基盤を支え、地域の活性化を図りつつ、財政の健全性を維持します。

- ※1：地方公共団体における年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てておく資金。
- ※2：地方公共団体の標準的な状態で通常収入されると見込まれる経常的一般財源（※5）の規模を示すもの。
- ※3：地方公共団体の公債費による財政負担の度合いを判断する指標。
- ※4：財政構造の弾力性（ゆとり）を判断するための指標。地方税・普通交付税などの、使いみちを制限されない毎年収入される性質の収入（経常的な収入）に対する、人件費・公債費・扶助費など毎年支出される性質の支出（経常的な支出）の割合です。
- ※5：使いみちを特定されず、どのような経費にも使用することができる財源です。市税、地方譲与税、地方交付税などがこれにあたります。

財政運営の目標

少子高齢・人口減少社会の進展や行政需要の多様化などに伴い、本市の財政状況は非常に厳しい状況にあります。

そのような中で、持続可能な財政運営を行うために、政策の達成目標（政策の成果指標）として下記を掲げ、財政の健全化の維持に努めています。

平成22年度決算に基づく現状値

	現状値	目標値
財政調整基金 ^{※1} 残高の標準	11.4%	5%以上
財政規模 ^{※2} に対する割合	11.4%	5%以上
実質公債費比率 ^{※3}	13.1%	18%未満
経常収支比率 ^{※4}	83.7%	90%未満
地方債現在高を累増させないこと	前年度比1.5%減	市債発行額 < 市債償還額

佐世保市の財政についてもっと知りたい方は、市のホームページにアクセスしてください。
また市役所6階 行政資料閲覧コーナーでも各種資料をご覧いただけます。

お問い合わせ先

佐世保市 財務部 財政課

〒857-8585 佐世保市八幡町1番10号
☎0956-24-1111 (内線2631~35)

ホームページアドレス <http://www.city.sasebo.nagasaki.jp/>

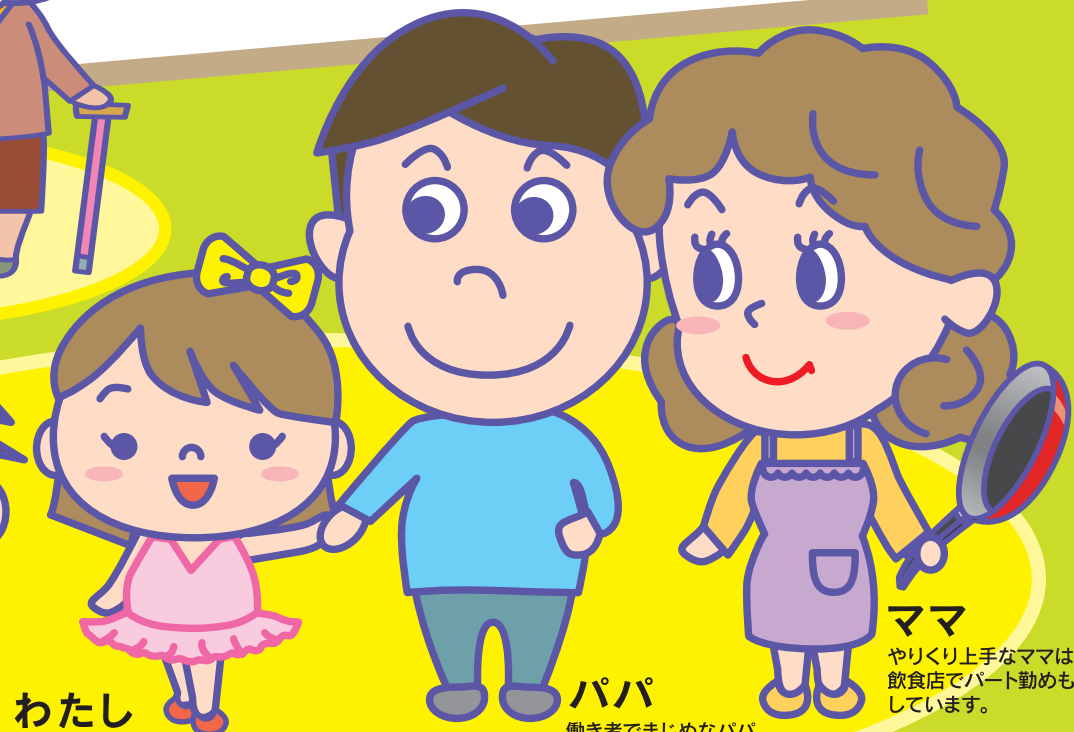
この付録は、佐世保市の平成22年度（平成22年4月1日～平成23年3月31日）の台所（財政）事情をわかりやすくお知らせするために制作した情報誌です。

26万人の台所事情

させぼさんちの家計簿

平成22年度決算

平成22年4月1日～平成23年3月31日



わたし
家族のみんなが大好き。
近所の小学校に通っています。

ママ
働き者でまじめなママ。
させぼさんちの大黒柱です。

させぼさん一家

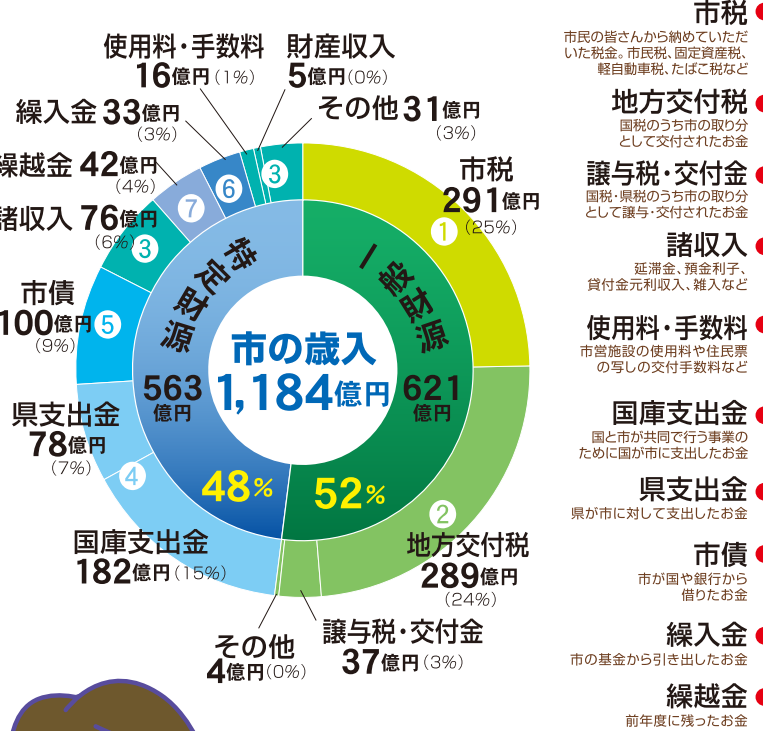
お兄ちゃん

寮生活をしながら
学校に通う高校生です。
勉強もスポーツも頑張っています。

佐世保市財務部



させぼさんちの家計簿



給料は、諸手当が毎年変わるから安定しないんだよ。

家や庭の改修など、臨時の大きな出費は、祖父母からの援助をお願いしているよ。

残りはローン(借入金)だけど、あまりローンに頼らないように気をつけたいね。

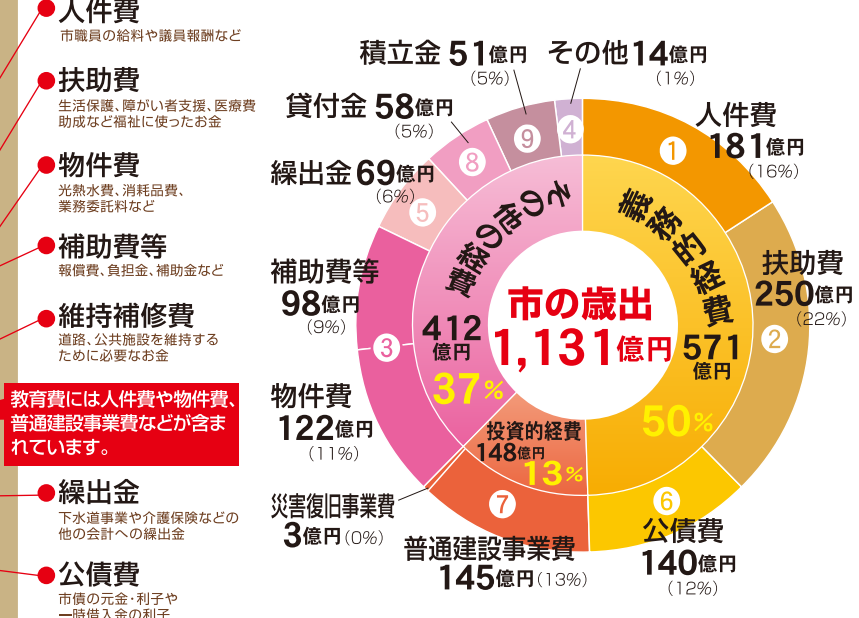
させぼさんちの家計簿

平成22年4月～平成23年3月の月平均家計

収入		支出	
	21年度からの増減		21年度からの増減
現金収入合計	371,700円 (+18,100円)	生活費合計	255,800円 (+12,700円)
① 給料(基本給)	107,300円 (+1,500円)	① 食費	57,800円 (+2,500円)
② 給料(諸手当)	121,300円 (+20,900円)	② 医療費	91,600円 (+16,100円)
③ パート収入	44,100円 (-3,300円)	③ 光熱水費など雑費	67,100円 (-13,200円)
④ 祖父母からの仕送り	99,000円 (-1,000円)	④ 車などの修理代	2,200円 (+1,500円)
⑤ ローン(借入金)	36,800円 (+3,300円)	⑤ 教育費	37,100円 (+5,800円)
⑥ 貯金の取り崩し	12,200円 (-3,700円)	⑥ 子どもへの仕送り	25,200円 (+1,400円)
⑦ 繰越金	15,500円 (+1,500円)	⑦ ローンの返済	51,500円 (+5,200円)
		⑧ 家や庭の建築・改修	41,700円 (-5,300円)
		⑧ 貸付など	23,700円 (+4,700円)
		⑨ 貯金	18,800円 (-3,500円)
収入合計	436,200円 (+19,200円)	支出合計	416,700円 (+15,200円)
		余り(収入-支出)	19,500円 (+4,000円)
貯金残高	796,000円 (+79,000円)	ローン残高	5,256,000円 (-88,000円)

貯金が増えたよ! **ローンが減ったよ!**

どんな支出があったの？



食費、医療費、ローンの返済で、全体の半分も占めているのよ。特に、医療費が家計を圧迫しているわ。これからも医療費は増えそうだから、食費や光熱水費など、できることからきりつめないね。

古くなった家や庭の改修は、計画的にやらないとね。

ローンの返済があるなかで、子どもへの仕送もしないといけないから大変だわ。

22年度決算のポイント

- 旧江迎町・旧鹿町との合併、子ども手当、及びハウステンボス再生支援交付金などにより、決算規模は約4%の増加。
- 地方財政対策などにより、地方交付税が大幅に増加。
- 社会保障関係費の増により、義務的経費が大幅に増加。

22年度のトピック

- ハウステンボス再生支援交付金の創設。
- 中小企業向け融資枠の拡充。
- プレミアム付商品券「させぼ振興券」の発売。
- アンテナショップ「キトラス」のグランドオープン。
- 乳幼児福祉医療にかかる現物給付制度の導入。
- 総合教育センターのグランドオープン。
- 学校などの耐震対策事業の着実な進捗。

よく似たの? 昨年と比べてみると……

21年度からの増減

給料(諸手当)が増えて助かったけど、これが続くとは限らないから安心はできないね。

貯金が増えて、ちょっと安心だね。将来のために、貯金は持っておきたいからね。

光熱水費などの雑費は、ずいぶん節約できたけど、年々医療費が増えて心配だわ。教育にもお金がかかるし。

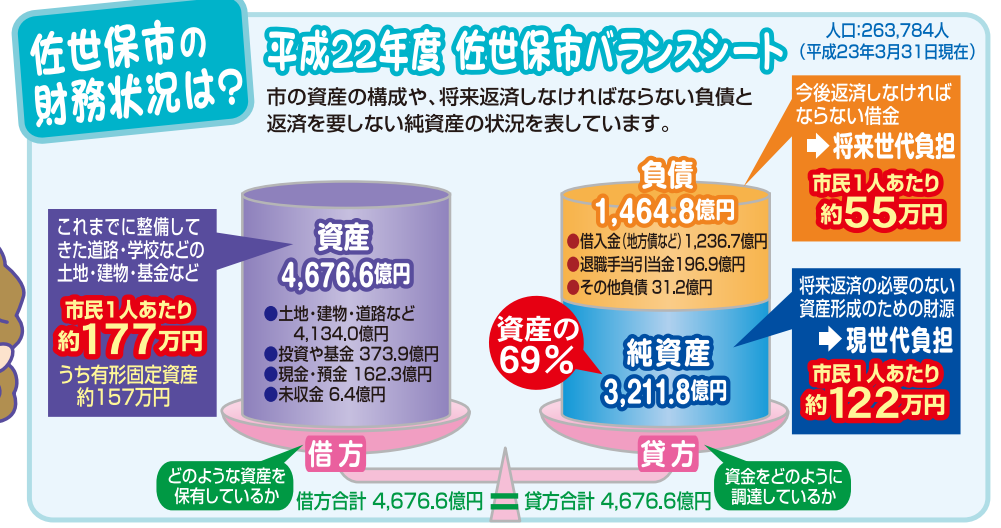
ローンが減ってよかったね。将来の負担はなるべく軽くしておきたいわ。

家計簿のつけ方を変更しました

歳入の「地方交付税」「譲与税・交付金」は、国や県が市に代わって徴収し、市へ交付・譲与される税です。家計簿では「市税」を「給料(基本給)」、「地方交付税」「譲与税・交付金」を「給料(諸手当)」とつけることに変更しました。

変更前	変更後
歳入	歳入
市税	給料(基本給)
地方交付税	給料(諸手当)
譲与税・交付金	給料(諸手当)
国庫支出金・県支出金	国庫支出金・県支出金

家計簿をしっかりとチェックして 収入に見合った支出を心がけたいね!!



どのような資産を保有しているか 借方合計 4,676.6億円 貸方合計 4,676.6億円 資金をどのように調達しているか